下まつげエクステ施術マニュアル

下まつげエクステ装着のメリット・デメリット

メニューに取り入れる前に確認しなければならないこと。

・装着のメリット
わずか5～10本の装着で目元の印象が大幅に変わることに加えて、小顔の印象を与えることが可能です。施術時間は平均15～30分程度で、上まつげエクステに比べ持続力が弱いため、リペア・リピートまでの期間が短く、回転率が向上します。

・装着のデメリット
ベースとなるまつげが短いため持続力は上まつげと比較するとかなり弱く、少量装着の場合は1本外れただけでも目立ちますので、事前のカウンセリングには十分注意する必要があります。

装着時に使用する施術パーツについて

装着時に使用する施術パーツは常に清潔な状態を維持しておくこと。

・太さ0.1mm、0.12mm、0.15mmで長さ6～7mmの柔らかい人工毛
・低刺激グルー（しみにくいグルー）
・エアブロア
・低刺激性テープ（医療用が理想）
・ツイーザー
・グループレート

装着をお断りしなければならない顧客

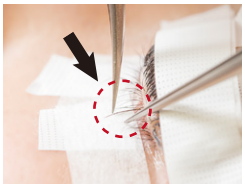
下まつげエクステは、希望される顧客すべてに装着できるわけではない。
中には以下の事例で下まつげエクステ装着をお断りしなければならない場合もあります。

① 逆まつげ（角膜に人工毛が常時触れる恐れがある）
② 下まつげが生えていない・生えていないに等しいくらい少ない。
③ まつげの隙間が開き過ぎていて部分的に装着すると違和感が出る。
（理想的な場所に5本以上装着できない場合はお断りする）
④ 生え際から1～2mm程度離して装着できない。
⑤ 薄く白っぽい産毛ばかり生えている。（まつげの成長に支障をきたす恐れがある）

注意！！

エクステンションは皮膚に触れない部分、まつげの生え際から1～2mm程度離れた所に装着します。（※学生や初心者は、トラブルを未然に防ぐため、まつげの生え際から2mm程度離しての装着を推奨します。）この際、まつげの先端につけたり、接着面積が狭いと持続力は低下します。また、目に入ると大変危険ですので絶対にグルーが液だれするほどつけてはいけません。

初心者は必ず2mm程度離して装着



下まつげエクステの装着方法（上まつげ装着後の場合）

事前にカウンセリングをする
顧客の上まつげに装着した人工毛とのバランス・下まつげの生え癖を考慮して、目元のデザインを決めます。1mmの違いでも大きく印象が変わるため、十分注意しましょう。※逆まつげなど装着できない（装着すると危険）な方もいらっしゃるため、しっかり見て確認しましょう。

1 テープで上まつげ・上まつげエクステンションを仮止めする

上まつげが下まつげにくっつかないよう下まつげが見えやすいよう、上まぶたは「下から上」に持ち上げます。この際、顧客のまぶたの厚みや目の形状によってアレンジが必要です。

2 下まつげ固定テープをはずす

3 前処理をする

まつげの汚れをクレンジング・前処理剤などを用いて取り除き、肌にはりついた下まつげをおこし、その後まつげを乾かし、コームブラシで整えます。

4 テープで下まぶたを固定する

顧客にまばたきをされるほど施術は難しくなります。その対策として顧客に目を閉じていただき、下まぶたを上から下に引っ張る様にテープで2～3か所固定します。（他にもいくつかの方法があります）

5 人工毛を装着する

グルーを適量つけ人工毛を装着します。必ずまつげの根元から1～2mm程度離れた場所に装着してください。（※学生や初心者は、トラブルを未然に防ぐため、まつげの根元から2mm程度離しての装着を推奨します。）この際、ツイーザーは目や肌に向けて使用せず、ツイーザー先端の位置に十分注意しましょう。人工毛の根元部分は、浮く事が無い様、密着させます。何らかの拍子に人工毛の根元部分が角膜に当たってしまう可能性が有るためです。

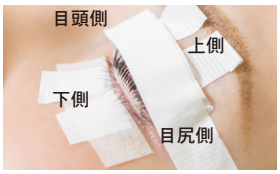
6 グルーの硬化促進
1本装着したらすぐにブロアなどでグルーの硬化促進を行います。

7 上記 ⑤ ～ ⑥ を繰り返し、装着します。

※ テープ固定時の注意：下まぶた・上まぶた共に、テープで強く引っ張り過ぎると顧客の目が開いてしまいます。薄目の状態（例えば、敏感な粘膜が露出された状態）で装着すると硬化時にグルーからごく微量発生する揮発物質によって、目がしみる場合があるため注意が必要です。必ず「目はしっかり閉じられていますか？蛍光灯の光などが目に入って来ていませんか？」と顧客に直接お声がけをして、目が開いていないことを確認しましょう。

注意！！

目元・まぶたの形状は顧客によって様々です。下まつげの根元が見えやすいように工夫をし、顧客の目元・まぶたに合わせたテーピングを行いましょう。
刺激に対して敏感な方の場合、超低刺激テープを使用したとしても、粘着剤に反応してかゆみなどを生じることがあります。グルー硬化時に発生する刺激性揮発物質から目元のお肌を保護するとともに、テープの粘着剤の粘着力を弱めて角質剥離・まつげ脱毛リスクを軽減する「目元保護&保湿ケアクリーム」のご利用をお勧めいたします。
また、粘着剤を使用しない「下まつげ固定&保護シート」のご利用も角質剥離・まつげ脱毛リスクの軽減対策としてご考慮ください。



推奨
・乾燥肌
・敏感肌

◆目元保護&保湿ケアクリーム

◆りんご幹細胞エキス&植物プラセンタ配合エイジングケアタイプ